

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月15日更新

事務事業名		防災士育成事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	4 生活環境の健康				所属部	総務部	課長名	齋藤 和広
	施 策	15 防災対策の推進				所属課	交通防災課	担当者名	橋本 達郎
	施策の柱	48 災害予防対策				所属班	交通防災班	(内線)	1244
予算科目		会計一般	款 9	項 1	目 4	事業連番 11717	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 31年度で終了 ☐ 31年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 29 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地域における防災力の向上の担い手となる人材を育成することにより、災害に強いまちづくりを推進するため、防災士養成講座を開催し、防災士の育成を推進する。 また、平成30年度に設立した防災士連絡協議会（H31.3.12現在107名）との情報交換・連携を図り、防災訓練や研修を行い市全体の防災力の向上を図る。
【業務の流れ】	防災士養成に伴う要請講座の開催
【主な予算費目】	・職員手当等 ・報償費 ・需用費 ・役務費 ・負担金補助及び交付金
【意見や要望】	熊本地震に伴い、議会より防災士育成の重要性について意見が上がっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動) (DO) ・防災士資格講習会の共同開催。 ・防災士資格取得に係る関係費の補助。 【執行率が基準に達しなかった理由】防災士講座の受講生が当初見込みより少なかった為。		2年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) ・防災士資格講習会の共同開催。 ・防災士資格取得に係る関係費の補助。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ ア: 防災士養成講座開催数		・3市町(菊池市、合志市、菊陽町)で事務局を持ち回りする防災士養成講座を今年度実施することに伴う講師謝礼(報償費)の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
・市民		→ ア: 人口 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
・防災士の認証登録を行なう		→ ア: 防災士認証登録者数 人
*③成果指標設定の理由と 2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
① 活動指標	ア 回		1	1	1	1	1	1	1	1
② 対象指標	ア 人		61,652	62,343	62,500	62,707	63,000	63,500	64,000	64,500
③ 成果指標	ア 人		55	107	140	137	150	160	170	180
投 入 費 量	財 源	国庫支出金	千円		1,276		266			
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	118						
		繰入金	千円							
	人 件 費	一般財源	千円	405	879	1,398	545	1,431	1,400	1,400
		(A) 事業費計	千円	523	2,155	1,398	811	1,431	1,400	1,400
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	49	49	49
		正規職員従事人数	人	3	5	0	5	5	5	5
	人 件 費	延べ業務時間	時間	450	600	0	580	580	580	580
		(B) 人件費計	千円	1,780	2,365	0	2,298	2,310	2,310	2,310
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,303	4,520	1,398	3,109	3,741	3,710	3,710

事務事業名	防災士育成事業	所属部	総務部	所属課	交通防災課
-------	---------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度の後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	☒ 達成した 菊池市・菊陽町と合同で防災士養成講座を開催した。	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②2年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 合志市を会場とし、3市町合同の養成講座を予定しており達成の見込みである。	☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 事業周知を図りより多くの参加者を募ることで防災意識の向上を図ることができる。	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	☒ 他に手段がない ⇒【理由】 防災士への支援は本事業のみである。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 自治体主催で開催し最低限の経費で行っており削減の余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 防災士養成のための事務であり削減の余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 公募により参加者募集を行っており公平公正である。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 防災士養成は市が主体に取り組む必要がある。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

防災士の養成等計画どおり実施することができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策